

2022 年 4 月 15 日

株式会社小学館

小学館は、講談社・集英社と 新規サービスの創出を目指します

～MDAM を基盤に雑誌ビジネスの DX～

平素より弊社の出版活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

小学館は、株式会社講談社（東京都文京区）及び株式会社集英社（同千代田区）と、3 社が共通で使用している雑誌・書籍の編集制作支援機能とアセットマネジメント機能を兼ね備えた総合誌面制作プラットフォーム「MDAM（エムダム）」から、雑誌コンテンツを使った新しいサービスの創出を目指し、MDAM を基盤にした新しいサービスの企画・設計を行います。

◆業務提携に至る背景

雑誌のコンテンツは、すでに雑誌の紙版・電子版だけではなく、媒体の Web や SNS、外部配信サービスなど多くのメディアに多角的に展開されていますが、コンテンツの価値を生かした新しいサービスの創出は長年の課題でした。また、サービスの元となるコンテンツも各社ごとの環境で管理しており、それが総合的なサービスの設計においてハードルとなっていました。

しかし、複数の出版社が MDAM を採用することで共通の基盤を持つことができ、新しいサービスを創出する環境が整いました。そこで 3 社（講談社・集英社・小学館）は協議をして新しいサービスの創出を実現するために協力いたします。

◆MDAM とは

誌面を構成する画像やテキスト等のデータを一元管理できるプラットフォームです。集英社が中心となって開発し、講談社や小学館などの採用によってさらに発展いたしました。特集や記事ごとの進行管理・編集が可能で、編集者やデザイナー、ライターなどがこのプラットフォームにアクセスして入稿や校正等の作業を行うことができます。また、CMS との連携機能など誌面を構成するアセットを各方面に展開する機能も実装されています。



◆MDAM の採用社 （2022 年 4 月現在）

講談社、光文社、集英社、主婦と生活社、小学館、世界文化社グループ（五十音順）

◆MDAM の導入促進・運用支援パートナー （2022 年 4 月現在）

大日本印刷